

V. 事例 身体障害者診断書・意見書(呼吸器機能障害用)

氏名	〇〇 〇〇	明治・大正 昭和・平成	35年11月10日生	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
住所	〇〇〇〇〇〇			
① 障害名(部位を明記)	呼吸器機能障害			
② 原因となった 疾病・外傷名	肺気腫、肺腫瘍切除	交通、労災、その他の事故(疾病、先天性、震災、天災、 戦災、戦傷、不明、その他)		
③ 疾病・外傷発生年月日	昭和 平成	25年11月頃日	場所	
④ 参考となる経過・現症(エックス線写真及び検査所見を含む。)	平成25年11月胸部X線異常を指摘され、11月～12月当科入院。この時、VC 3370ml、FEV%59%と軽度の閉塞性障害あり、肺気腫と診断される。肺腫瘍と診断 され〇〇病院にて12月19日左肺全摘出術を受ける。 障害固定又は障害確定(推定) 昭和 平成 26年1月 日			
⑤ 総合所見	術後より労作時の呼吸困難あり。禁煙を厳守させ呼吸機能上の閉塞性障害は回復した が、呼吸困難は持続している。拘束性障害が現在主体であり安静時の動脈血ガスは良好 であるが、運動時著明に低下する。 [将来再認定 <input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要] (再認定の時期 H31年 5月)			
⑥ その他参考となる合併症状				
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。 平成 28年 5月 1日 〒 〇〇〇-〇〇〇〇 病院又は診療所の名称 〇〇病院 所在地 診療担当科名 内科 医師氏名 〇〇 〇〇 印				
身体障害者福祉法第15条第3項の意見[障害程度等級についても参考意見を記入] 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に <input checked="" type="radio"/> 該当する (4 級相当) <input type="radio"/> 該当しない				
注意	1 障害名には現在起っている障害、例えば両眼失明、両耳ろう、右上下肢麻痺 心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、角膜混濁、先天性難聴、脳 卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。 2 歯科矯正治療等の適応の判断を要する症例については、「歯科医師による診断 書・意見書」(別様式)を添付してください。 3 障害区分や等級決定のため、神戸市市民福祉調査委員会から改めてお問い合わせ する場合があります。			

呼吸器の機能障害の状況及び所見

(該当するものを○でかこむこと)

1 身体計測

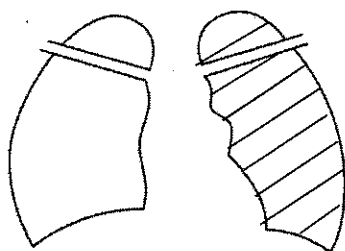
身長 167 cm 体重 42 kg

2 活動能力の程度

- ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。
- イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。
- ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることもある。
- エ 平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。
- オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部エックス線写真所見 (平成 28 年 1月 15日)

- ア 胸膜癒着 (無)・軽度・中等度・高度
- イ 気腫化 (無)・軽度・中等度・高度
- ウ 線維化 (無)・軽度・中等度・高度
- エ 不透明肺 (無)・軽度・中等度・高度
- オ 胸郭変形 (無)・軽度・中等度・高度
- カ 心・縦隔の変形 (無)・軽度・中等度・高度



4 換気機能 (平成 28 年 4月 10日)

- ア 予測肺活量 3 . 9 9 L (実測肺活量 2 . 3 5 L)
- イ 1秒量 1 . 0 0 L (実測努力肺活量 2 . 1 5 L)
- ウ 予測肺活量1秒率 2 5 . 0 % ($= \frac{\text{イ}}{\text{ア}} \times 100$)

(アについては、下記の予測式を使用して算出すること。)

肺活量予測式 (L)

男性 $0.045 \times \text{身長 (cm)} - 0.023 \times \text{年齢 (歳)} - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長 (cm)} - 0.018 \times \text{年齢 (歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

5 動脈血ガス (平成 28 年 4月 10日)

- ア O₂分圧 : 6 8 . 6 Torr
- イ CO₂分圧 : 4 0 . 7 Torr
- ウ pH : 7 . 4 2
- エ 採血より分析までに時間を要した場合 時間 分
- オ 耳朶血を用いた場合 : []

6 その他の臨床所見